

バングラデシュ人民共和国向け円借款貸付契約の調印

—基幹インフラ整備を通じて、更なる成長のステージへの飛躍を支援—

2010年03月24日

1. 国際協力機構（理事長：緒方貞子）は、3月24日、バングラデシュ人民共和国政府との間で、4件、総額387億9,200万円を限度とする円借款貸付契約に調印しました。

2. バングラデシュは、2004年以降、毎年6%前後の安定した経済成長を達成し、欧米を起点として発生した世界金融・経済危機の影響が多くの新興市場国・低所得国へと波及している2008年末以降も、豊富な労働力に支えられて国際的競争力を維持し、成長に向けたモメンタムを継続しています。しかしながら、民間経済活動が活発化する一方で、全国的に質・量ともに不足するインフラ整備の状況が、将来的な経済成長や対外投資の飛躍にとってのボトルネックとなっています。例えば、電力セクターについては、圧倒的な発電能力の不足、及び送配電設備の老朽化により、計画停電が日常化し、経済活動の阻害要因となっています。運輸インフラについても、都市部では幹線道路の未整備によって激しい交通渋滞が常態化しているほか、農村部では、地域間の道路ネットワークが十分に整っていません。このため、ヒト・モノの可動性（モビリティ）が制約され、多くの経済機会が失われています。



調印式の様子

3. さらに、地球温暖化にいかに対処すべきか、という課題は先進国のみならず、発展途上国にとっても重要課題としてクローズアップされてきています。特にバングラデシュは、2007年に発生した巨大サイクロン・シドルをはじめとして、洪水・サイクロン等による幾多の被害を経験していますが、今後、地球温暖化の進行に伴い、これら自然災害の影響は拡大し、その予測不能性も高まるといわれています。加えて、今後も経済成長の持続が予見される中で、エネルギーの有効活用を通じた温室効果ガス排出ペースの抑制も政策課題としての重要性が年々高まっています。

4. 今次円借款案件では、このような課題に対応すべく、電力供給インフラの強化（「ベラマラ・コンバインドサイクル発電所建設事業（E/S）」、「農村地域配電網整備事業」）、並びに、交通インフラの改善（「チッタゴン環状道路整備事業」、「南西部農村開発事業」）に向けた支援を行います。上記インフラ整備にあたっては、電力セクターにおいて高効率電力供給設備への転換を促すほか、運輸セクターでは、過去のサイクロンによる被害記録に基づいた高さの堤防を道路と併せて建設（「チッタゴン環状道路建設事業」）するなど、バングラデシュの気候変動対策の推進を多面的に支援するための取り組みも併せて行います。

5. 我が国とバングラデシュは、1971年の独立以降、円借款のみならず技術協力・無償資金協力を含めた長年に亘る協力を通じて、良好な関係を築いています。また、バングラデシュは、依然としてアジアの最貧困国ではありますが、1億4000万人超の人口を擁し、政治的にも安定が続く中で、ベトナムに次ぐチャイナ・プラス・ワンの一角として、その潜在的成長性は世界的にも脚光を浴びつつあり、縫製業をはじめとする日本企業の進出先としても期待が高まっています。新JICAとしても、今後とも、多様な援助スキームを有機的に連携させながら、その潜在的な成長性を開花させ、着実な貧困削減へとつなげていくべく、支援を継続していきます。

（参考）

1. 借款金額及び条件

案件名	借款金額 (百万円)	金利 (%/年)		償還期間（年）	据置期間（年）	調達条件
		本体	コンサルティング・サービス			
チッタゴン環状道路建設事業	9,096	—	0.01	40	10	アンタイド
ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設事業(E/S)	2,209	—	0.01	40	10	アンタイド
農村地域配電網整備事業	13,241	—	0.01	40	10	アンタイド
南西部農村開発事業	14,246	—	0.01	40	10	アンタイド
合計	38,792	—	—	—	—	—

2. 事業概要

(1) チッタゴン環状道路建設事業

Chittagong City Outer Ring Road Project

(a) 事業の背景と必要性

チッタゴン市はバングラデシュ第二の都市であり、国内最大の港湾施設・輸出加工区（EPZ）、国際線空港を有するなど、同国の今後の発展に向けて重要な役割を担うと期待されています。しかし、チッタゴン市において市の中心部と空港や港、EPZを結ぶ幹線道路が計画的に整備されておらず、交通渋滞が慢性化しており、環状道路の建設を通じた交通ネットワークの改善が求められています。

また、バングラデシュは一般に災害に対する脆弱性が高いといわれていますが、チッタゴン市のあるバングラデシュ東南部のベンガル湾沿い地域は、特に頻発するサイクロン被害に悩まされています。近年はサイクロンの規模も巨大化しており、2007年11月にバングラデシュ東南部を襲ったサイクロン「シドル」による被害者は3,300人超、崩壊した家は56万世帯にも上るといわれています。チッタゴン市の都市計画においても、サイクロン等災害への対応が重要視されていますが、既存の堤防は侵食が進み十分な護岸機能を果たせておらず、これへの対応が喫緊の課題となっています。

(b) 事業の目的と概要

本事業は、チッタゴン市の輸出加工区を含む海岸地域において護岸機能を有する環状道路の建設（全長14.7km）等を行い、同市内における既存道路の渋滞を緩和するとともに、サイクロンや高潮等の自然災害による被害を抑制することにより、チッタゴン市の経済発展を促進することで、バングラデシュの経済発展に寄与するものです。

借款資金は、環状道路や附帯する支線の建設に必要な土木工事、コンサルティング・サービス等に充てられます。

(c) 事業実施機関

チッタゴン開発公社（Chittagong Development Authority(CDA)）
住所：CDA Building, Court Road, Chittagong-4000, Bangladesh
TEL：+880-31-285-2300、FAX：+880-31-614-610

(d) 今後の事業実施スケジュール（予定）

(i) 事業の完成予定時期：2016年2月（施設供用開始時をもって事業完成）

(ii) コンサルティング・サービス（施工監理等）

招請状送付予定時期：2010年8月

(iii) 本体工事に係る国際競争入札による調達パッケージ入札公示：

調達パッケージ名：道路建設本体パッケージ（Engineering Procurement Construction Package）

予定時期：2012年3月

(2) ベラマラ・コンバインドサイクル火力発電所建設事業(E/S)

Bheramara Combined Cycle Power Plant Development Project (Engineering Services)

(a) 事業の背景と必要性

バングラデシュでは、深刻な電力需給ギャップが経済成長の最大のボトルネックとなっています。ピーク時電力需要に対し、供給可能設備容量は約7割に留まり、日常的に計画停電を余儀なくされています。堅調な経済成長に伴い、今後年間8%の需要増加が予測されていますが、資金不足等による新規発電所建設計画の遅れにより、需給ギャップは更に拡大する見込みです。こうした電力需要の増大に対応するために、新規の発電所建設などが課題となっています。これに加え、電力供給の強化には、低い発電所稼働率や脆弱な財務体質など電力事業体の改革も急務となっています。

現在の安定した経済成長を更に持続していくためには、経済成長の基盤として信頼性のある質の高い電力供給は不可欠であり、バングラデシュの現政権において電力セクターは最も優先度の高いセクターの一つと位置付けられていますが、電源開発計画の多くは遅延しており、電力需給バランスを一層逼迫したものにしています。

(b) 事業の目的と概要

本事業は、発電部門のセクター改革の一環として2007年にバングラデシュ電力開発庁から分社化された北西部発電会社に対して、新型発電所の建設・運営体制構築を支援するものです。電力需要の逼迫するバングラデシュ西部クシティア県ベラマラ郡において、大規模発電所建設を通じて質の高い電力供給を確保することにより、対象地域の産業競争力の強化及び民生の向上に寄与します。また、本事業は高効率のガス火力発電設備の導入を通じ、バングラデシュの温暖化対策の推進にも貢献するものです。

本借款の資金は、本事業のためのコンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）に充当されます。

(c) 事業実施機関

北西部発電会社（North West Power Generation Co., Ltd.）
住所：Bidyut Bhaban, 13th Floor, 1 Abdul Gani Road, Dhaka-1000, Bangladesh
TEL：+880-2-951-3527

(d) 今後の事業実施スケジュール（予定）

(i) 事業の完成予定時期：2017年9月（貸出完了日をもって事業完成）

(ii) コンサルティング・サービス（本事業実施支援等）

招請状送付予定時期：2010年5月

(3)農村地域配電網整備事業

Rural Electrification Upgradation Project

(a) 事業の背景と必要性

バングラデシュでは、近年の堅調な経済成長に伴い、今後、年約8%の電力の需要増加が予測されており、発電能力の強化に加えて、送・配電部門における損失低減等を通じた改善も重要な課題となっています。配電部門では、バングラデシュ電力省策定のセクター改革計画に基づき、配電設備の拡充・効率化が進められていますが、設備の老朽化、低圧線延伸による長巨長化によるロス、検針不良、盗電等の理由で、全国的に配電損失率は依然高く、改善の余地は大きくなっています。また、農村部では、乾季を中心とした灌漑設備稼働のために電力需要が高く、この需要への対応が食料安全保障の観点から優先課題とされています。

バングラデシュ政府は、1977年に農村電化庁を設立して、農村部における電化プログラムを展開してきました。農村電化庁は各地域で電力供給を受ける地域住民で構成される農村電化組合を設立して配電事業の運営を委託し、電力供給を広げてきました。農村部（31%）及び都市部（83%）における電化率の格差解消は、依然として重要課題となっていますが、上流における発電能力に制約がある中で、バングラデシュ政府としては、既存の配電網設備の改修・補強を通じた効率性及び安定性の向上及び農業生産性向上への貢献が、政策的な優先課題となっています。

(b) 事業の目的と概要

本事業は、ジャムナ川以西の農村部において、配電設備の新設・改修を行うものです。本事業による配電損失の低減、電力供給システムの強化及び安定化を通じて、効率的な電力供給を図り、もってバングラデシュ西部の経済発展および貧困削減に寄与します。また、老朽化した配電設備の効率改善等を通じて、温室効果ガスの削減にも資するものです。

本借款の資金は、配電設備（中圧・低圧線、変電所、その他関連設備）の新設及び改修、並びに、入札補助及び施工管理等を行うコンサルティング・サービス等に充当されます。

(c) 事業実施機関

農村電化庁（Rural Electrification Board）

住所：Head Office Building, Nikunja-2, Khilkhet, Dhaka-1229, Bangladesh

TEL：+880-2-891-6424(-28)、FAX：+880-2-891-6400

(d) 今後の事業実施スケジュール（予定）

(i) 事業の完成予定時期：2014年12月（施設供用開始時をもって事業完成）

(ii) コンサルティング・サービス（本事業実施支援等）

招請状送付予定時期：2010年5月

(iii) 本体工事に係る国際競争入札による最初の調達パッケージ入札公示：

調達パッケージ名：配電線関連設備パッケージ（Package for Line Materials and Associated Items）

予定時期：2010年11月

(4)南西部農村開発事業

South-Western Bangladesh Rural Development Project

(a) 事業の背景と必要性

バングラデシュでは総人口の40%が貧困層に区分されており、とりわけ全人口の約8割が居住し、貧困層比率も高い農村部では、貧困削減への取組みが開発政策上重要な課題となっています。2000年以降急速な経済発展によって国全体の貧困率が低下傾向にある中で、本事業の対象地域となる南西部地域は状況改善が殆ど見られず、逆に悪化している地域もあるため格差是正のための対策が必要です。

バングラデシュ政府は、貧困対策の有効な手段の一つに農村インフラの整備を掲げており、2005年に2015年までのマスタープランを策定の上、同計画に基づいて農村インフラ整備を実施してきました。農村インフラ整備にあたっては、農村道路を中心にしつつ、市場等相乗効果を持つ施設を併せて総合的に整備することを方針としています。しかし農村道路や市場の整備は、未だその需要と供給のギャップが著しい状況にあります。とりわけ南西部は地盤が脆弱な上に冠水被害を受けやすく、施工や維持管理が困難な地域であるため、農村インフラ整備が他地域と比べて遅れています。この整備の遅れが、同地域の経済開発を阻害する一因となっているため、農村インフラの整備支援を通じて、経済の活性化や社会サービスアクセスの改善を図ることが、農村部の貧困状況の改善にとって不可欠であるといえます。

(b) 事業の目的と概要

本事業は、バングラデシュ南西部14県（バリシャル6県、ファリドプール5県、クルナ3県）の貧困農村部において、112の郡道路、18の行政村道路を主体として整備し、併せて相乗効果を持つ付随的な農村インフラとして、50箇所の市場、橋梁、船着場等を整備するものです。同時に農村インフラ整備を効果的に実施するための関係機関の能力強化研修及び、雇用創出・貧困緩和の観点からグループ化された地域の貧困女性が本事業（路肩への植林労務等の軽微な維持管理）に参加するための研修などを行います。道路や橋梁、市場などはJICAの支

援によって策定された実施機関であるLGED（地方行政技術局）の設計基準に沿って実施されるため、整備された農村インフラの効果が持続していくことが期待されます。更に本事業はLGED(地方行政技術局)に派遣されている当機構の農村インフラアドバイザーと協調することによって最大限の効果を上げるように実施していきます。

本借款の資金は、農村インフラの整備（既存道路の補修及び、整備道路に隣接する農村市場の改良）等の土木工事、農村インフラ維持管理体制の構築、能力強化等のコンサルティング・サービスに充当されます。

(c) 事業実施機関

地方行政技術局（LGED : Local Government Engineering Department）

住所：LGED Bhaban, Agargaon, Sher-e-Bangla Nagar, Dhaka, 1207, Bangladesh

TEL : +880-2-811-4804、FAX : +880-2-811-6390

(d) 今後の事業実施スケジュール（予定）

(i) 事業の完成予定時期：2014年12月（施設供用開始時をもって事業完成）

(ii) コンサルティング・サービス（本事業実施支援等）

招請状送付予定時期：2010年3月

(iii) 本体工事に係る国際競争入札による最初の調達パッケージ入札公示：

本事業では、本体工事に係る入札はありませんが、対象機関において実施されるサブプロジェクトにおいて逐次事業実施のための調達が行われる見込みです。